

## ⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—30773

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 62 D 3/12

識別記号

庁内整理番号  
7053—3D

⑬ 公開 昭和59年(1984)2月25日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

## ⑭ 自動車両ステアリング・ボックス

⑮ 実 願 昭57—127908

⑯ 出 願 昭57(1982)8月24日

⑰ 考 案 者 ビットリオ・ドン  
イタリア国10100トリノ・ピア  
・ベツツエツカ7⑱ 考 案 者 ビエルルイジ・マイ  
イタリア国20100ミラノ・ピア  
・ルツジエロ・デイ・ローリア

3

⑲ 考 案 者 ピエトロ・コニヨ

イタリア国10100トリノ・ピア  
・カラグリオ127/4⑳ 出 願 人 アールアイブイーエスケエフ  
・オフイチーネ・デイ・ビラー  
ル・ペロサ・ソシエタ・ペル・  
アツイオニ  
イタリア国10123トリノ・ピア  
・マツツイーニ53

㉑ 代 理 人 弁理士 青木朗 外3名

## ⑳ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 回転自在のピニオンと、ハウジング内部で軸方向に移動自在のラックとからなっており、上記ピニオンは上記ラックと咬合していると共に同ラックの片方の側に配設されていて、更には、動作時にピニオンがラックに与える推力を実質上支持するようになっていてかつ上記のラックの片側とは反対の側に配設された少なくとも1つの回転自在の支持要素を含んでおり、該支持要素が上記ラックの対応面上で摺動せずに回転するようにされた支持面を備えていると共に、上記ラックに向って軸方向に弾性手段により押圧されるブロックにより担持されていることを特徴とする自動車両ステアリング・ボックス。
- (2) 上記支持面が、上記ラック面に数ヶ所で係止し得るように、断面視した場合に実質上凹面状の輪郭を有していることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第1項に記載の自動車両ステアリング・ボックス。
- (3) 上記支持要素が上記ブロックの対応軸受内で回転自在の1対の端末ジャーナルからなる回転自在のローラで構成されていることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第2項に記載の自動車両ステアリング・ボックス。
- (4) 上記支持要素が、上記ブロックの担持するス

ピンドルにころ軸受を介して支持された回転自在の輪状要素で構成されていることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第1項または第2項に記載の自動車両ステアリング・ボックス。

- (5) 上記輪状要素の外面による横断面が円弧状であることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第4項に記載の自動車両ステアリング・ボックス。
- (6) 2つの回転自在支持要素を含んでおり、その各々はころ軸受の外面で構成されかつ上記ラックに設けられた対応の平らな表面部分上に回転するようになっており、上記2個のころ軸受の軸線が180°以下の内角を形成していることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第1項に記載の自動車両ステアリング・ボックス。
- (7) 上記ころ軸受の各々が上記ブロックに剛着されたピンによつて担持され、該ピンがそれらの間に上記の180°以下の角度をなしていることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第6項に記載の自動車両ステアリング・ボックス。
- (8) 上記弾性手段が上記ブロックを、上記ハウジングに固定されたカバーとの間に配設された少なくとも1つのばねで構成されていることを特徴とする、上記実用新案登録請求の範囲第1項

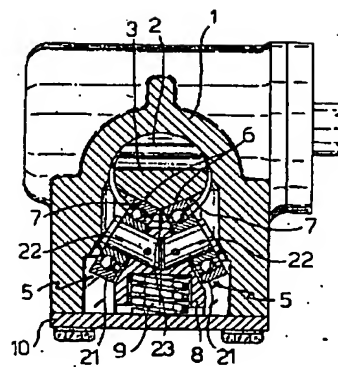
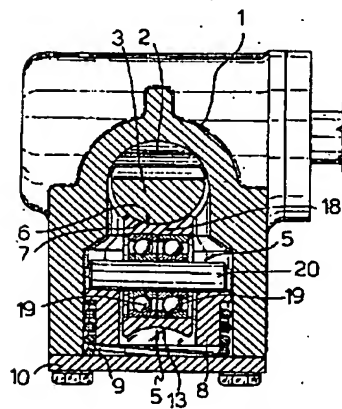
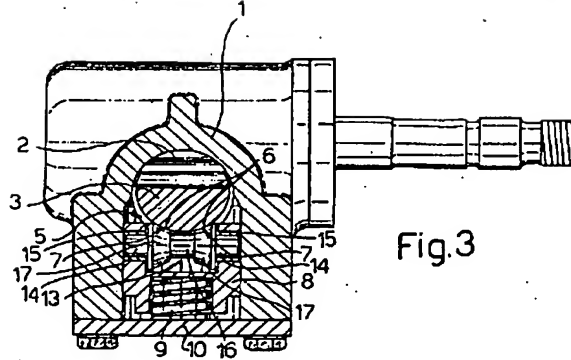
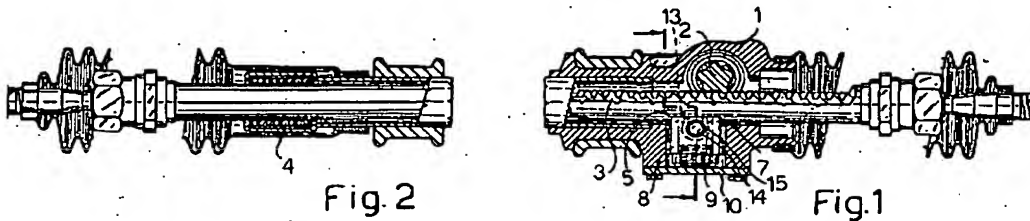
から第7項までのいずれかに記載の自動車両ステアリング・ボックス。

図面の簡単な説明

第1図および第2図は本考案に従つて構成されたステアリング・ボックスの部品の縦断面図、第3図、第4図、第5図は本考案の支持要素の各種

実施例の、ラック軸線に直交する平面による断面図、である。

1…ハウジング、2…ピニオン、3…ラック、4…プッシュ、5…支持要素、6…支持面、7…ラックの対面図、8…ブロック、9…ばね。



BEST AVAILABLE COPY